

EGGPLANT

ホームスクール通信 エッグプラント

Nファミリー

2007.8.1

No.37

以下は、聖書が語る終末時代のアウトラインです。細かい解釈はいろいろありますが、一般的なものをあげます。

にえとささげ物をやめさせる。荒らす忌むべき者が翼に現れる。ついに、定められた絶滅が、荒らす者の上にふりかかる。」

(旧約聖書・ダニエル九章二十七節)

全世界に平和をもたらす偉大な人物が登場します。人類は「偽りの平和」の時を過ごします。人々は歓喜してその人物を迎えますが、聖書は彼を「反キリスト」と呼んでいます。後に自らを神とし、人々に礼拝を強要する独裁者なのです。偽りの平和は三年半しか続かず、それ以降は、これまで人類が経験したことのない恐ろしい苦しみの時です。これも三年半続き「難難時代」と呼ばれます。この時多くの国々はイスラエルに攻め込まれます。世界を巻き込む大戦争になります。人類滅亡寸前というところで、創造主からの介入があります。人類創世以来、人間を通してこの地上を治めるように神は意図されましたが、それが終わりを告げるのです。その後は、神が直接この世界を統治する「千年王国」が到来します。その後、もう一度混乱した後、新天新地が造られます。

「預言者ダニエルによって語られたあの『荒らす憎むべき者』が、聖なる所に立つのを見たならば、…そのときには、世の初めから、今にいたるまで、いまだかつてなかったような、またこれからもないような、ひどい苦難があるからです。…これらの日の苦難に続いてすぐに、太陽は暗くなり、月は光を放たず、星は天から落ち、天の万象は揺り動かされます。」

(新約聖書・マタイ二十四章)

これはイエスのことばです。偉人・道徳家のイメージとはかなり異なっているでしょう！

「あなたがたがたくなであり、首筋は鉄の腱、額は青銅だと知っているので、わたしは、かねてからあなたに告げ、まだ起こらないうちに、聞かせたのだ。『私の偶像がこれをした。』とか、『私の彫像や鑄た像がこれを命じた。』とかあなたが言わないためだ。…わたしは今から、新しい事、あなたの知らない秘め事をあなたに聞かせよう。」

(イザヤ書四十八章四、六節)

時間を超えた神が、将来起こることを文字に残すことで、聖書の真実性を見誤らないように語っておられます。多くの預言はすでに成就しました。それを調べるだけでも聖書のすごさを実感できます。しかし、終末預言はこれからのことです。私たちが神に立ち返るよつに特別に終末時代について語られました。そして、現代こそ正に終末時代なのです。現代ほど、これらの聖書預言を実感できる時はないのです。

聖書が語る終末



これらの根拠となっている聖書の箇所をあげます。ほんの一部で、また前後関係を省いているので難しいですが、容赦ください。

「彼(注・反キリストのこと)は一週の間、多くの者と堅い契約を結び、半週の間、いけ

「イエスのあかしと神のことばのゆえに首をはねられた人たちのたましいと、獣やその像を拜まず、その額や手に獣の刻印を押されなかった人たちを見た。彼らは生き返って、キリストとともに千年の間王となった。」

(新約聖書・黙示録二十章四節)

これらのことが私たちの生きていくときに起きるどうかはわかりません。しかし、人間が神から離れ続けるならば、いずれは神の前に立ち死後裁きを受けます。聖書は、個人レベルでこれらの滅びから救われる方法を提供しています。聖書に耳を傾け、提供されている新しいいのちを自分のものにしてください。

七月
こんなことしました！ 行事報告

- 二日 長居プール
- 七日 阿倍野スポーツセンター
- 九日 長居プール
- 十日 J.Cホームチャータースクール
- 十四日 日曜学校 お楽しみ会
- 二十一日 阿倍野スポーツセンター
- 二十六～二十八日 祖父母宅お泊り
- 二十八日 土曜学校（アイススクリーム作り）



ながいプール

R

七月に四家ぞくといっしょにながいプールに行きました。お姉ちゃんといっしょにあそびました。ずーっとうきわをしていたので、家に帰ってきて、うきわでプカプカとうかんでいるかんじでした。

午後には深いプールに行きました。そのプールは四年生で百四十センチいじょうの子どもしかおよげませんでした。おとなといっしょだとおよげます。

すべりだいは、かいだんをのぼっているとおちゅうでこわくなくなって行けませんでした。でもほかの人は十回ぐらい行っていました。夏休み前だったのでとてもすいていてゆっくりプールですごせてよかったです。

五時間ぐらいプールにいたので手や足のひふがふにやふにやになってしまっておもしろかったです。プールの中はあたたかいけど、外はすごく寒かったです。あがったみんなでおべんとうを食べる時、くちびるがむらさき色になっていてぶるえていました。すごく楽しかったです。



ついにMとHが空手で黒帯を手に入れることができました。黒帯なので自分の名前も入れてもらいました。

ホームスクールと同時に始めて四年。夏の猛烈な暑さに耐え、冬の厳しい寒さに負けずに(笑)よくがんばりました。

今年中にはNとEも黒帯になれるかもしれません。

右の写真は黒帯をもらった上の二人と黒帯を目指す下の二人。(Eの顔がいかつい...)

阿倍野スポーツセンター

H

私は十一人といっしょに阿倍野スポーツセンターへ行きました。そこでバトミントンと卓球のチームに分かれました。私は卓球が好きではないので、バトミントンの方を選びました。私は毎朝、兄弟と一緒に近くの公園へ行き、バトミントンをしているので少しはできます。やはり、公園でやるより、体育館でやるほうが、風がないので、やりやすいです。でも慣れていないので、コートでやるとネットに当たったりしてしまいました。いっしょに行ったSさんは昔、バトミントンを習っていたので、すごく上手で、いろいろ教えてくれました。とっても夢中になってやったので、三十分もたたないうちに、汗がダラダラと落ちてきて、手や腰が痛くなってきました。ですが、とっても楽しいので、痛いけど続けていました。全部で一時間四十五分やりました。疲れたけど、本当に楽しい時間がすごすことができ良かったです。前よりいっそうバトミントンが好きになりました。前スポーツで汗を流すということは、とてもいいことです。

編集後記

暑中おのみまい申し上げます。

五人の子どもたちは、それぞれ教会のキャンプ、田舎に帰省、祖父母宅へお泊りなど分散型で過ごしています。今年も次号は号外がであることを期待しています。